



## 平成27年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月5日

上場取引所 東

上場会社名 ティーライフ株式会社

コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植田 伸司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年7月期第2四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成27年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第2四半期	3,396	12.9	104	△43.9	111	△42.8	62	△46.0
26年7月期第2四半期	3,008	10.9	185	20.5	195	20.6	116	24.6

(注) 包括利益 27年7月期第2四半期 73百万円 (△38.7%) 26年7月期第2四半期 116百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第2四半期	14.77	—
26年7月期第2四半期	27.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年7月期第2四半期	4,588	—	3,609	—	78.7	849.32
26年7月期	4,481	—	3,642	—	81.3	857.08

(参考) 自己資本 27年7月期第2四半期 3,609百万円 26年7月期 3,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年7月期	—	0.00	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,886	14.5	404	4.8	430	11.8	235	4.9	55.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正につきましては、平成27年2月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期2Q	4,250,000 株	26年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	27年7月期2Q	57 株	26年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期2Q	4,249,943 株	26年7月期2Q	4,249,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年3月12日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢などに改善が見られたものの、消費税率引き上げに伴う個人消費の回復の遅れや円安による原材料価格の上昇、海外景気の下振れなどの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する小売・卸売業界におきましては、消費税率引き上げによる個人消費の低迷に加え、業種・業態を問わず価格競争が激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、中期経営計画（平成27年7月期～平成29年7月期）において「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、商品・企画・サービスレベルの向上による競争優位の創造、顧客開拓・M&Aなど成長に寄与する分野への先行投資、販売チャネルの共有・資金の有効活用によるグループ経営の効率化に取り組んでまいりました。

なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイクの全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,396百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

損益面では、営業利益は104百万円（同43.9%減）、経常利益は111百万円（同42.8%減）、四半期純利益につきましては62百万円（同46.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

#### (小売事業)

小売事業では、ネット広告をはじめ効率の良い媒体に適時、原資を集中投下するとともに、広告表現や購入プロセスの改良を進め、顧客の拡大、開拓効率の向上に努めたほか、コールセンターを活用した販売促進策により、安定した収益の基礎となる定期会員の確保に努めてまいりました。また、お茶を中心とした主力飲料のサンプル配布や姉妹品の拡充、秋の味覚やお節料理などの季節商品の投入に加え、お客様から高い支持を得ている商品券セール（商品券、未使用の切手・ハガキ等の手持ちの金券で買い物ができる企画）や下取りセール（手持ちの健康食品または化粧品を送付で買上金額が割引される企画）など独自の商品やサービスの展開により、他社との差別化に努めてまいりました。

この結果、売上高は2,267百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、定期会員の確保に向けた各種費用への先行投資などにより、セグメント利益は117百万円（同5.1%減）となりました。

#### (卸売事業)

卸売事業では、株式会社ダイカイクの加入により生活雑貨の品揃えが飛躍的に拡大したほか、欧州ブランドの日本市場での認知度向上や国内市場にマッチしたオリジナル商品の開発に取り組んでまいりました。また、テレビ通販番組内でのプレゼンテーションや小売店での売場づくりなど、商品の効果的な販売方法の研究を進め、取引先への提案力を強化してまいりました。また、展示会への出展により新たな取引先の開拓に注力するとともに、海外のテレビ通販番組へ商品供給を開始するなど、販売チャネルの拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,128百万円（前年同四半期比41.3%増）と伸長したものの、販売費及び一般管理費が増加し、セグメント損失は15百万円（前年同四半期は62百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、4,588百万円（前連結会計年度末比107百万円増）となりました。

流動資産の増加（同108百万円増）は、主に現金及び預金が254百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が286百万円、商品及び製品が130百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少（同1百万円減）は、主に投資有価証券が17百万円、投資その他の資産のその他が13百万円増加したものの、のれんが30百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、979百万円（前連結会計年度末比140百万円増）となりました。

流動負債の増加（同143百万円増）は、主に買掛金が99百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少（同2百万円減）は、主にその他が5百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,609百万円（前連結会計年度末比32百万円減）となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が43百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、1,375百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、82百万円（前年同四半期は66百万円の獲得）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益126百万円があったものの、売上債権の増加額235百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、186百万円（前年同四半期比268.7%増）となりました。

これは、主に定期預金の払戻による収入106百万円、投資有価証券の売却による収入45百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入32百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、288百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。

これは、配当金の支払額106百万円、短期借入金の減少額105百万円、長期借入金の返済による支出77百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,367,709	1,113,688
受取手形及び売掛金	602,978	889,874
有価証券	332,114	302,193
商品及び製品	383,018	513,191
仕掛品	25,409	31,759
原材料及び貯蔵品	133,529	93,609
未収還付法人税等	3,772	1,016
その他	59,121	76,022
貸倒引当金	△9,891	△14,645
流動資産合計	2,897,762	3,006,709
固定資産		
有形固定資産	323,484	327,591
無形固定資産		
のれん	199,509	168,815
その他	102,261	96,571
無形固定資産合計	301,770	265,386
投資その他の資産		
投資有価証券	526,529	544,434
その他	434,723	448,266
貸倒引当金	△3,149	△3,590
投資その他の資産合計	958,103	989,111
固定資産合計	1,583,358	1,582,089
資産合計	4,481,120	4,588,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	174,643	274,373
未払法人税等	77,009	67,924
賞与引当金	33,773	44,218
役員賞与引当金	10,120	4,752
ポイント引当金	13,622	12,727
その他	273,781	322,254
流動負債合計	582,949	726,249
固定負債		
退職給付に係る負債	38,796	41,904
その他	216,833	211,044
固定負債合計	255,629	252,948
負債合計	838,579	979,197
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	2,924,922	2,881,486
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,608,137	3,564,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,403	44,900
その他の包括利益累計額合計	34,403	44,900
純資産合計	3,642,541	3,609,601
負債純資産合計	4,481,120	4,588,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)
売上高	3,008,927	3,396,289
売上原価	1,067,608	1,335,102
売上総利益	1,941,318	2,061,186
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	737,071	734,848
貸倒引当金繰入額	4,182	8,577
役員報酬	81,900	94,590
賞与引当金繰入額	31,827	41,419
役員賞与引当金繰入額	5,049	4,752
退職給付費用	10,290	11,323
その他	885,531	1,061,617
販売費及び一般管理費合計	1,755,853	1,957,129
営業利益	185,465	104,056
営業外収益		
受取利息	1,617	1,644
受取配当金	1,424	1,181
その他	7,124	6,090
営業外収益合計	10,167	8,916
営業外費用		
支払利息	7	380
支払保証料	—	607
支払手数料	197	196
その他	142	145
営業外費用合計	347	1,330
経常利益	195,285	111,642
特別利益		
固定資産売却益	—	1,104
投資有価証券売却益	0	2,905
保険解約返戻金	—	10,782
特別利益合計	0	14,791
特別損失		
投資有価証券売却損	1	24
特別損失合計	1	24
税金等調整前四半期純利益	195,284	126,409
法人税等	79,007	63,596
少数株主損益調整前四半期純利益	116,277	62,812
四半期純利益	116,277	62,812

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	116,277	62,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,403	10,496
その他の包括利益合計	3,403	10,496
四半期包括利益	119,681	73,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,681	73,308
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	195,284	126,409
減価償却費	36,254	38,027
のれん償却額	30,693	30,693
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△408	4,684
賞与引当金の増減額 (△は減少)	423	645
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,011	△5,368
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5,471	△895
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,986	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	3,108
受取利息	△1,617	△1,644
受取配当金	△1,424	△1,181
支払利息	7	380
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,104
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△2,880
保険解約損益 (△は益)	—	△10,782
売上債権の増減額 (△は増加)	△78,317	△235,791
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,416	△22,288
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,167	89,259
その他	27,731	△25,799
小計	177,884	△14,526
利息及び配当金の受取額	4,250	2,933
利息の支払額	△7	△380
法人税等の支払額	△115,275	△74,711
法人税等の還付額	—	3,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,853	△82,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△106,000	△10,500
定期預金の払戻による収入	109,600	106,900
有価証券の取得による支出	△30,000	—
有価証券の償還による収入	200,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△304	△10,726
有形固定資産の売却による収入	—	1,237
無形固定資産の取得による支出	△8,582	△19,323
投資有価証券の取得による支出	△1,800	△1,912
投資有価証券の売却による収入	207	45,094
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△52,519	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	32,412
その他	△60,102	13,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,498	186,198
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△128,878	△105,000
長期借入金の返済による支出	—	△77,454
配当金の支払額	△97,748	△106,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,627	△288,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	203	706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109,071	△184,711
現金及び現金同等物の期首残高	1,358,705	1,560,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249,634	1,375,613

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,210,213	798,714	3,008,927	—	3,008,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	341	7,420	7,762	△7,762	—
計	2,210,555	806,135	3,016,690	△7,762	3,008,927
セグメント利益	123,849	62,128	185,977	△512	185,465

(注) 1. セグメント利益の調整額△512千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間において、コラムジャパン株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「卸売事業」セグメントにおいて280,610千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,267,520	1,128,768	3,396,289	—	3,396,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	184	13,779	13,963	△13,963	—
計	2,267,705	1,142,547	3,410,252	△13,963	3,396,289
セグメント利益又は損失(△)	117,522	△15,440	102,082	1,974	104,056

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,974千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、株式会社ダイカイの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日と比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「卸売事業」セグメントにおいて301,333千円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。